

平成29年度教職員研修会

平成29年8月22日

文部科学省選定 私立大学研究ブランディング

地域共生のための対人援助システムの構築と効果に関する検証

広島文化学園HBG
対人援助研究センター

対人援助研究センター長 山崎 晃

1

1. 事業計画

キーワード

- (1) 共生社会の実現
- (2) 「来んさいカフェ」
- (3) 対人援助プログラム
- (4) 支援サポーター養成プログラム
- (5) 地域の活性化

2

2. 研究の推進体制

対人援助研究センター

地域支援サポーター養成プログラム

「来んさいカフェ」

原感覚に働きかけるHBG子育て支援プログラムの開発

子ども子育て・教育福祉
研究部門

「来んさいカフェ」

インクルーシブ・スポーツを実践するHBGアダプテッドプログラムの開発

スポーツ・健康福祉
研究部門

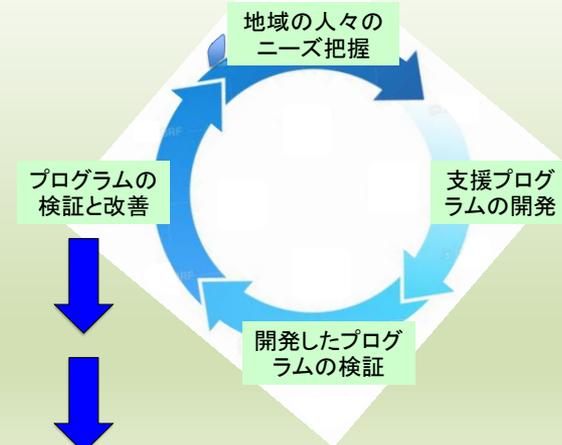
「来んさいカフェ」

高齢・認知症者支援のためのHBG看護カフェプログラムの開発

看護・医療福祉
研究部門

3

3. 研究



4

↓

(1) 支援サポーター養成プログラムの開発

↓

(2) 地域への情報発信

↓

(3) 地域との共生

↓

(4) 地域に開かれた大学

5

客観的指標による効果測定・検証

- ① 心理学的指標
- ③ 生理学的指標
- ③ 総合的指標に基づく効果の検証

6

4. 広報・情報発信

- ① 公開講演会
- ② 報告書刊行
- ③ 研究成果のポスター(展示)
- ④ 来んさいカフェ
- ⑤ 外部評価
- ⑥ ホームページ

7

5. 今後

- ① 全教職員によるサポート
- ② 在学生の協力
 - カリキュラムとの連携
 - 授業との連携
 - ボランティアの養成

8

子ども子育てによる支援研究

9

平成28年度の調査について

- 目的:①子育て中の保護者(ぶんぶん広場参加者)の子育て中のストレスと、周囲に求める支援と提供された支援への満足度について調べる。
 - ②入学前ガイダンスに参加してくれた高校生を対象に、子育て中のお母さんは「子育て中、どう感じていると思うか」と質問し、高校生が子育てに対しどのようなイメージを持っているかを調べる。
- ・子育て中の保護者:104名 高校生:175名
 ・調査日時:2017年3月

母親における子育て不安の因子分析結果

	F1	F2	F3
9. 自分の子どもの育て方は、これでいいのだろうかと思うことがある。	.853	-.223	.057
10. 自分は子どものことをわかっていないのではないかと思う。	.751	.065	-.066
1. 自分はうまく子どもを育てていないと思うことがある。	.744	-.206	.088
2. 子どもを育てる自信がないと思うことがある。	.660	.190	-.099
14. 子どもをたたいたりしかったりしたときによくよ考える。	.504	.170	-.036
6. 子どもを育てていて自分だけが苦労していると思う。	-.080	.871	-.021
12. 一人で子どもを育てている感じがして落ち込む。	.113	.714	-.043
15. だれも自分の子育ての大変さをわかってくれないと思う。	-.240	.669	.121
8. 何か心が満たされず空虚である。	.320	.523	.017
13. 体の疲れがとれずいつも疲れている感じがする。	-.077	-.047	.918
16. 育児や家事など何もしたくない気持ちになることがある。	.034	.100	.652
4. 疲れやストレスがたまってイライラする。	.289	.105	.403
11. 子育てを離れて一人になりたい気持ちになることがある。	.146	.265	.362
因子間相関	F1	.607	.551
	F2		.585
	F3		
主因子法(プロマックス回転)			

高校生における子育て不安の因子分析結果

	F1	F2
16. 育児や家事など何もしたくない気持ちになることがある。	.855	.002
14. 子どもをたたいたりしかったりしたときによくよ考える。	.811	-.170
9. 自分の子どもの育て方は、これでいいのだろうかと思うことがある。	.781	.054
10. 自分は子どものことをわかっていないのではないかと思う。	.718	.103
11. 子育てを離れて一人になりたい気持ちになることがある。	.595	.067
13. 体の疲れがとれずいつも疲れている感じがする。	.546	.252
12. 一人で子どもを育てている感じがして落ち込む。	.522	.313
5. ゆったりとした気分でも子どもと過ごせない気がする。	-.074	.819
3. 毎日生活していて心に張りが感じられない。	.012	.750
8. 何か心が満たされず空虚である。	.010	.721
6. 子どもを育てていて自分だけが苦労していると思う。	-.022	.696
4. 疲れやストレスがたまってイライラする。	.178	.572
2. 子どもを育てる自信がないと思うことがある。	.309	.425
因子間相関	F2	.764

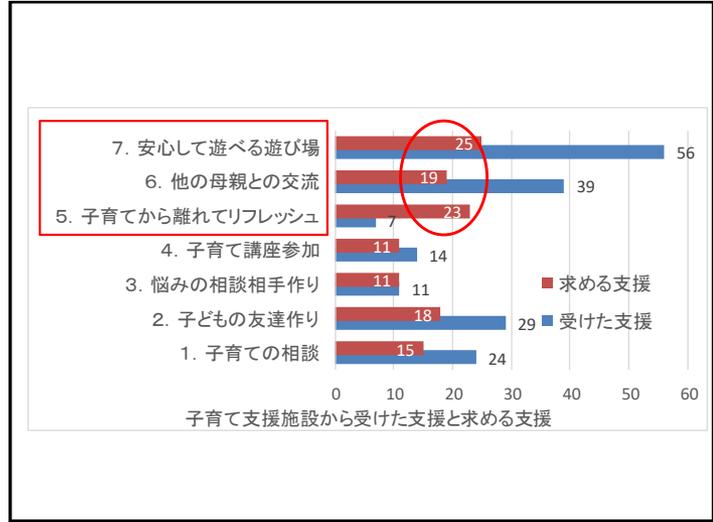
母親と高校生の平均値について

母親 > 高校生

有意に高い項目

「心身の疲れ」

子育てを離れて一人になりたい気持ちになることがある
疲れやストレスがたまってイライラする



♪♪♪ 広島市の主な母子保健サービス♪♪♪ 平成29年4月1日

区分	妊 娠 中			乳 児 期							幼 児 期										
	前期	中期	後期	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5
健康診査等	●母子健康手帳交付と妊婦相談 (妊婦中の健康管理や、妊婦健診等についてお話しします。)			●新生児・未熟児家庭訪問指導 (出生直後により体調が不安定な場合に訪問します。)							●こころはほほえむ心事業 (生後4か月までの乳児がいるご家庭を、民生委員・児童委員等が訪問します。)										
健康診査等	●産前・産後ケア事業 ●産後ケア事業 ●産後ケア・派遣事業			●1歳6か月児健康診査 (個人通知します。)							●3歳児健康診査(0歳5か月) (個人通知します。)										
健康診査等	←妊婦一般健康診査→ (4回/年)妊婦健康診査 ←妊婦産科健康診査→ (1回/年)			●新生児健康診査(5歳未満で実施します。)							●先天性代謝異常等検査(医療機関で実施します。)										

●親子教室 (お子さんの発達について気になることや心配なことがある1歳6か月～2歳頃のお子さんと保護者を対象にした親子遊びの教室です。)

育児講座・健康相談等
 地域子育て支援センター (0歳～小学校就学前までの育児の悩みや子育ての相談を、保育士や保健師が電話、フタ、面談により行っています。(面談は予約が必要) また、地域の子育てサークルやオープンベースの紹介、育児講座の開催等も行っています。)
 つどいの広場 (中区にある健康科学館内で実施) 常設オープンベース (各区の地域福祉センター等に開設する常設オープンベース(中区を除く)、民間の運営する公営型常設オープンベース(中区、南区、西区、安佐南区、安佐北区、佐伯区))
 民間の運営する公営型常設オープンベース (中区、南区、西区、安佐南区、安佐北区、佐伯区)
 (住民とその関係者が、いつでも気軽に集い、子どもを遊ばせながらほっとするひとときを過ごす交流の場です。専任スタッフ(保育士等)が常駐しているため、気軽に子育てなどの相談もできます。)
 地域のオープンベース (地域の有志により、公民館や児童館などで開催されるオープンベースです。)
 子育てサークル (子育てを楽しもうという親子の集まりです。子育て中の親たちが行事や工作など自主的に行っています。)
 ファミリーサポートセンター
 (子ども一時預かり等の援助を受けたい人(依頼会員)と援助をしたい人(提供会員)を繋ぎ、会員同士でお互いに子育てを援助するしくみです。 ※事前に会員登録が必要です。事務局は健康科学館内にあります。)

※ 健康のことや育児などについて、不安なことやわからないことがあれば、お気軽に保健センターへご相談ください。(安佐南保健センター ☎831-4044)

安佐南区(広島市)の母子保健サービスの中の「親子教室」というサービス

- 内容:「お子さんの発達について気になることや心配なことがある1歳6か月～2歳頃のお子さんと保護者を対象にした親子遊びの教室です。」
- 「こっこ」教室: 月1回で最大6回まで参加可能、1歳半から2歳まで
- 「かるがも」教室: 月1回で最大6回まで参加可能、2歳から3歳
- 「にこにこ」教室: 2歳・5回10組まで、保育士や療育センターのスタッフも参加

★療育センターは受付から診療まで、数か月待つこともあり、その間親御さんは「不安」を感じている。

ここに、子育てがカフェの必要性が生まれる!

子ども・子育て研究WGの今後の研究

- 1、「子育てカフェ」(スヌーズレンなど)を利用した
 - ①「疲労感」軽減のための支援
 - ②子育て支援サポーターの養成プログラムの作成
- 2、「発達が気になる」子どもさんの保護者への
 - ③仲間づくりの支援
 - ④相談窓口、知識や活動の提供
 - ⑤支援プログラムの作成



全体

子ども子育て・教育福祉部門

【事業目的】

- I. 原感覚に働きかけるHBG子育て支援プログラムの開発と検証
- II. 地域支援サポータープログラムの開発と検証

18

平成28年度の研究

調査目的

地域ニーズを明らかにすること

調査対象

- (1) 子ども子育て支援
- (2) 食生活支援
子ども子育て支援センター(いぶんいぶん広場)
利用経験者：104人
- (3) 音楽による支援
広島市内の特別養護老人ホーム等：37施設

19

子どもの食事づくりに関する質問項目

1.調理をすると疲れる。	10.調理について相談をする人がいない。
2.食事の支度をさせられていると思う。	11.作っても子どもが食べない。
3.食事の準備、いつまでも慣れない。	12.適度な味付けがわからない。
4.どのように調理をするのか、調理法	13.1日に何をどれくらい用意したらいいのかわからない。
5.調理をすることは楽しい。	14.子どもにアレルギーがある。
6.調理がストレス発散になる。	15.時間がない。
7.食事作りを終えると、達成感がある。	16.子どもに手がかかる。
8.気分しだいで自由に調理することができる。	17.家族の協力がいない。
9.メニューが思い浮かばない。	

「全くそう思わない」「あまりそう思わない」「時々そう思う」「よくそう思う」の4件法で回答を求めた。

20

子どもの食事づくりに関する質問項目	
1.調理をすると疲れる。	10.調理について相談をする人がいない。
2.食事の支度をさせられていると思う。	11.作っても子どもが食べない。
3.食事の準備、いつまでも慣れない。	12.適度な味付けがわからない。
4.どのように調理をするのか、調理法に迷う。	13.1日に何をどれくらい用意したらいいのかわからない。
5.調理することは楽しい。	14.子どもにアレルギーがある。
6.調理がストレス発散になる。	15.時間がない。
7.食事作りを終えると、達成感がある。	16.子どもに手がかかる。
8.気分しだいで自由に調理することができる。	17.家族の協力が無い。
9.メニューが思い浮かばない。	

「時々そう思う」「よくそう思う」と回答した者の割合が50%以上だった項目

印刷なし 21

子どもの食事づくりに関する意識（17項目）	
「時々そう思う」「よくそう思う」と回答した者の割合が50%以上だった項目	
メニューが浮かばない (81.9%) 子どもに手がかかる (62.5%) 調理をすると疲れる (51.9%)	気分しだいで自由に調理することができる (76.9%) 食事づくりを終えると達成感がある (75.9%) 調理することは楽しい (67.3%)
調理の負担感	調理の楽しさ

22

子どもの食事づくりに関する意識 因子構造

主因子法(プロマックス回転) 3項目を除いた14項目4因子に構成

	I	II	III	IV
I 調理の楽しさ ($\alpha=0.785$)				
食事作りを終えると、達成感がある。	.763	-.084	.032	-.077
調理することは楽しい。	.670	-.033	.028	-.145
調理がストレス発散になる。	.650	-.132	-.097	.224
気分しだいで自由に調理することができる。	.609	.135	-.086	.003
II 献立不安・調理不安 ($\alpha=0.755$)				
1日に何をどれくらい用意したらいいのかわからない。	-.014	.841	.008	-.041
適度な味付けがわからない。	.070	.740	-.065	-.075
どのように調理をするのか、調理法に迷う。	-.177	.602	-.075	.194
メニューが思い浮かばない。	.085	.383	-.028	.257
III 協力・相談者不足 ($\alpha=0.551$)				
家族の協力が無い。	-.010	-.096	.773	-.002
子どもに手がかかる。	-.206	-.070	.459	.338
調理について相談をする人がいない。	.177	.315	.410	-.175
IV 調理負担感 ($\alpha=0.757$)				
調理をすると疲れる。	.171	-.013	.010	.727
食事の準備、いつまでも慣れない。	-.037	.376	.059	.529
食事の支度をさせられていると思う。	.129	-.037	.343	.424

23

各因子間の関連 (ピアソンの積率相関係数)

	I	II	III	IV
I 調理の楽しさ	-			
II 献立不安・調理不安	-.497**	-		
III 協力・相談者不足	-.227*	.284**	-	
IV 調理負担感	-.523**	.654**	.447**	-

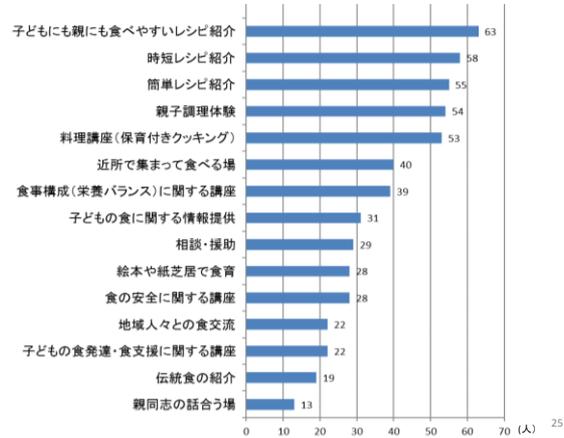
**p < .01 *p < .05

調理の負担感 < 調理の楽しさ

献立不安・調理不安の解消
協力・相談者の存在

24

地域の食事づくりに関する支援ニーズ (複数回答)



子育て家庭への食生活支援プログラム

・健康チェック(来んさいカフェ長束)

- ①体の水分量・筋肉量
- ②骨密度
- ③栄養バランス

・食育講座(仮)

- ①献立力・調理力アップ教室
- ②簡単・栄養たっぷりレシピ紹介
- ③親子料理教室(3歳児)

仲間づくりをしながら半年コースのプログラム

26

平成29年度

■地域のニーズ調査 (H29.7.31)

安佐南保健センター 厚生部保健福祉課指導係に訪問。担当課長及び保健師へのインタビュー

- ・安佐南区の出産数 2,700人/年 **広島市の1/4**
- ・気になるお母さんの把握と支援
産前産後サポート事業 (H27.10～)
親子教室 (発達について気になることや心配なことがある1歳6か月児～2歳頃のお子さんと保護者を対象にした親子遊びの教室)
15組 月1回6回まで参加可能
(1歳6か月児健診時 言語・情緒発達で約2割
そのうちすべての親子が参加していない※受け皿が少ない)
- ・こんにちは赤ちゃん事業：生後4か月までの乳児のいるご家庭を民生委員・児童委員などが訪問)

子育てしづらさがある中で、受け皿が十分でない。
4か月健康相談から1歳6か月児健診の間が長い
多様な子育てへの対応

27

全体

平成29年度

- 集いの場「来んさいカフェ」の提供
- HBG支援プログラムの開発と実施

1. 特別支援
2. 子育て支援
3. 食生活・食育支援
4. 音楽による支援



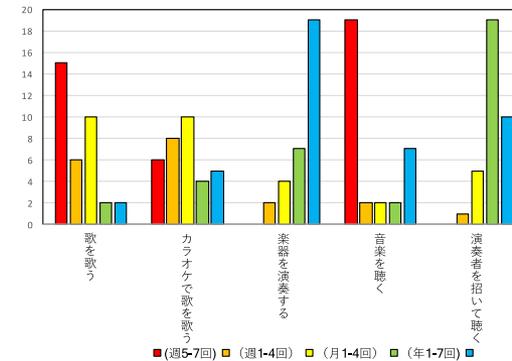
- 地域支援サポーター養成プログラム
持続可能な対人支援
地域の活性化

28

音楽による支援研究

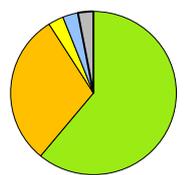
29

音楽活動の内容



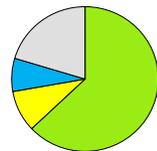
広島市内の特別養護老人ホーム等：37施設に実施したアンケートより 30

音楽活動時間



■ 60分 ■ 30分 ■ 10分 ■ 40分 ■ 90分

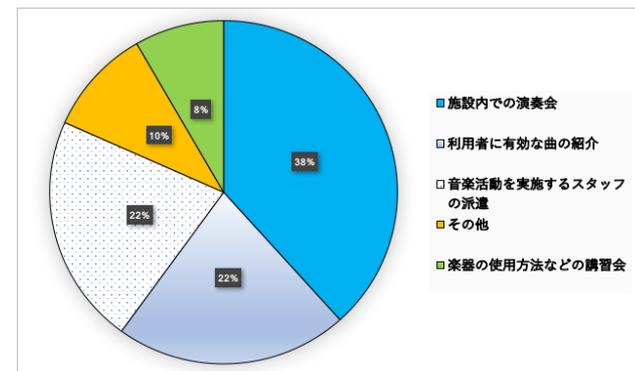
音楽活動の担当者



■ 施設の介護スタッフ ■ 施設の作業療法士・音楽担当
■ 施設外の音楽担当 ■ その他

31

求められている音楽関連の支援



■ 施設内での演奏会
□ 利用者に有効な曲の紹介
□ 音楽活動を実施するスタッフの派遣
■ その他
■ 楽器の使用方法などの講習会

32

今後の研究計画について

平成29年度の研究

研究の目的

高齢者施設で行う、回想法を取り入れた音楽療法の効果について調査する。

研究の内容

回想法を取り入れた音楽療法の実施前後の高齢者の抑うつ気分の変化について調査する。

(古村美津代他 2005 抑うつを伴う老人保健施設入所者に対するライフレビューの効果)

- 老人性うつスケール (Geriatric Depression Scale:GDS) 短縮版
- 高齢者用多元観察尺度 (Multidimensional Observation Scale for Elderly Subjects:MOSES)

33

今後の研究計画について

現在行っていること

- **調査場所の選定**
(広島市内の高齢者施設)
- **回想法の再考**
(黒川由紀子氏による回想法のステップアップ講座に参加)
- **音楽プログラムの構築**
(文献検索・近隣の音楽療法士に協力を得て、年代別・季節ごとの曲を選定)

34



今年度中に、高齢者施設の職員を対象とした音楽レクリエーションのワークショップを開催したいと、現在計画中。



35